NEWSLETTER（2017年度５号 ９月増刊号） 2017年9月22日

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 2017年地域学校教育センター 夏の活動

東京都立高等学校における日本語指導支援

今年度も、日本語学科学生および応用言語学研究科大学院生が、連携協定を結んだ都立高校において日本語指導支援を行っています。

(1) 都立飛鳥高校・南葛飾高校 日本語講座 4月から7月まで

飛鳥高校　全日制3クラス10回、定時制3クラス9回

南葛飾高校　4クラス11回

内容としては文法・語彙・読解を中心とした授業ですが、初級クラスでは漢字・語彙を中心とした授業を行うものもありました。大学院生あるいは4年生と3年生の組み合わせで行くため、異学年の学び合いが起きることが一つの特徴です。今年度は、日本語教師をしている卒業生や国語教職課程を履修している学生も加わっているため、より広い視点から日本語教育を捉え人の繋がりを広げる機会となっています。

(2) 都立竹台高校 コミュニケーション講座 7月12日～14日（3日間）

竹台高校において、3日間9名の学生が「言葉」をテーマに支援活動を行いました。1日目「オノマトペ」2日目「ことわざ」3日目「慣用句」と異なる話題を扱い、3クラスに合わせて事前に用意した活動案をもとに意見交換を行いました。

(3) 都立飛鳥高校・南葛飾高校 夏期講習 8月　**※右の写真はすべて夏期講習から**

飛鳥高校（2クラス8日間）、南葛飾高校（2クラス7日間）で夏期講習を行いました。継続的に担当している日本語講座と違い、夏期講習ではその日初めて担当する生徒に対して授業を行うことが特徴です。生徒一人ひとりを短い時間で把握、生徒に考えさせる授業を展開するという課題に挑みました。また、夏期講習で初めて参加する国語教職課程の４年生や、日本語教育専攻の２年生の参加も始まりました。先輩と一緒に指導案を考えたり、緊張の中一人で授業を行ったりして高校での日本語指導支援のスタートを切りました。

栗林さん

岩谷さん・岡部さん

鈴木さん

参加学生の声

・栗林倫也（4年・国語教職・飛鳥高校夏期講習参加）
初めての日本語実習でしたが、２名の参加者の方が積極的に発問に答えてくれて、国語実習とは違う少人数制であったり自分の気持ちをしっかりと言葉で表現できる生徒にやりやすさを感じました。

・岩谷瑠莉（3年・国語教職・南葛飾高校日本語指導支援・夏期講習参加）
難しい語彙は、こちらから少し説明をしてあげると理解していた様子でした。分からない部分を「わからない」「どうしてこうなるの？」などと自分から意思表示をしてくれたので、授業がしやすかったです。

・鈴木瞭太（3年・国語教職・南葛飾高校夏期講習参加）
初めて教壇に立ってみた感想ですが、やはりとても緊張しました。読解の方は何とか最後までもっていくことが出来ましたが、教材の読み込みの甘さが随所に見られたので次回以降の課題だなと感じました。

2017 年度　第１回交流会

明海大学・足立区立第五中学校

留学生との交流会

足立区との連携事業の一環として、今年度は第五中学校、竹の塚中学校、入谷南中学校の３校において本学の留学生との交流会が計画されています。その第１回目、第五中学校第３学年生徒との交流会が９月１２日に行われました。

ネパール、中国、韓国、スリランカ、インドネシア、アメリカ、スウェーデン、ギリシャからの留学生計 14 名が、中学生６人のグループにつき１名ずつ配置され、お互いに自己紹介をして交流が始まりました。留学生は自国を紹介する写真などを持参して、各国の美しい景色や特色等を説明しました。中学生は、中国語の発音が難しいことに驚いたり、スリランカの茶畑の風景が日本の景色とよく似ていることに気づいたり、ネパール語でエベレスト山の呼び方を学んだりしました。

次に中学生が留学生に対して修学旅行の記録を示しながら、京都・奈良の観光地や名産品等について紹介しました。留学生からの、”How tall is the Great Buddha?”という質問にグループで協力して答えられた時のうれしそうな笑顔が、この交流会の成功を物語っていました。

出身国の異なる留学生を擁する明海大学の特色を生かした交流会は、中学生にとって様々な文化を知る機会であると共に、英語が便利なコミュニケーションツールであることを体験する本物の場面でもあります。同時に留学生にとっても、異なる年齢層の日本人と交流できるよい機会となりました。

参加した留学生の感想

・とてもよく準備された会でした。次回は中学生と話すトピックがもっとたくさんあるといいと思います。

第五中学校生徒の感想

・今日は本当に楽しかったです。こうやって実際に英語が生かせる機会があるとやる気がでます！！

Mimiyori

教員採用一次試験の結果が大変良好でした。合格者に対してはセンター職員総動員で８月いっぱい面接練習・実技練習を行い、受験者が不安なく各都県の二次に臨めるようにしました。センター業務の充実が教員志望の学生の後押しとなると信じて、教職員一同日々仕事に励んでいます。

教員採用試験一次合格者　計 11 名

東京都	中高英語	１名（４年生）
埼玉県	高校英語	２名（院生・４年生）
千葉県	中高国語	２名（４年生）
	中高英語	２名（４年生）
	中高英語	３名（2017 年卒業生）
	小学校全科	１名（2015 年卒業生）